

# ウィーンで薫陶を受けた2人が奏でるウィーン音楽

~wienerische Musik~



## ヴァイオリン 中村太地 (Daichi Nakamura)

2017年、日本人初優勝となったブラームス国際コンクールを始め、直後に行われたリビツァー国際コンクールでも第3位入賞を果たした他、若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクール入賞(最年少ファイナリスト)、ハチャトリアン国際音楽コンクール、クライスラー国際コンクールなど権威ある国際コンクールにて多数入賞及び特別賞受賞。ブルガリアで行われたシメオノヴァ国際コンクール優勝後には審査委員長A.スタンコフ氏にその才能を認められ、直後にソフィアフィルハーモニー管弦楽団とベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲を共演し、ヨーロッパパデビューを果たす。モスクワやウィーンの流れを汲み、これまでにアナスタシア・チェボタリョワ氏や渡辺後はウィーン国立音楽大学にてミヒャエル・フリッセンシュラガー氏に師事。

これまでに九州交響楽団、名古屋フィルハーモニー管弦楽団、サンクトペテルブルク交響楽団、クラーゲンフルトフィルハーモニー管弦楽団、ソフィアフィルハーモニー管弦楽団、フィルハーモニア・ジェルノグルシュカなど多数のオーケストラ及び、大山平一郎、故佐藤功太郎、渡辺一正、曾我大介、S.スムバチャン、A.スタンコフ各氏と共演する他、クフモ音楽祭にアーティストとして招かれるなど、ヨーロッパと日本を中心に活動中。2016年度北九州市民文化奨励賞受賞。

## ピアノ 佐藤卓史 (Takashi Sato)

1983年秋田市生まれ。2001年第70回日本音楽コンクール第1位。2004年、史上最年少で第30回日本ショパン協会賞を受賞。2006年東京藝術大学を首席で卒業。第55回ミュンヘンARD国際コンクール特別賞受賞。2007年第11回シューベルト国際コンクール第1位。2010年エリザベート王妃国際音楽コンクール入賞。2011年カントゥ国際コンクール第1位、メンデルスゾーン国際コンクール最高位受賞。ドイツ・ハノーファー音楽演劇大学ソロクラスを修了、ドイツ国家演奏家資格を取得。引き続きウィーン国立音楽大学で研鑽を積む。2012年第8回浜松国際コンクール第3位ならびに室内楽賞受賞。

内外のオーケストラにソリストとして多数客演の他、室内楽奏者としても高く評価されており、堀米ゆず子、佐藤俊介、神尾真由子をはじめとする多くの著名な演奏家と共演。レコーディング活動も積極的に行っており、日本と欧州で多数のアルバムを発表。

これまでに、ピアノを目黒久美子、上原興隆、小林仁、植田克己、アリエ・ヴァルディ、ローラント・ケラーの各氏に、フォルテピアノを小倉貴久子氏に師事。

2014年よりシューベルトのピアノ曲全曲演奏会「シューベルトツィクルス」を開始。実力派ピアニストとして注目を集めている。公式サイト [www.takashi-sato.jp](http://www.takashi-sato.jp)

## ACCESS



## 北九州市立 響ホール

〒805-0062 北九州市八幡東区平野1-1-1

TEL 093-662-4010

## お迎えバスのお知らせ

時間 第1便 17:30 以降随時運行

最終便 18:20

マイクロバスが定員になり次第の出発となります。

